



月刊 おかじょうき

<http://www.okajiki.com/>

2023

3

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 2月例句会	19
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会 1月句会報	31
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	30
Infomation	34～

カンテラ

おぼろ

当柳社の昨年9月及び10月句会出席者はともに7名だったが、12月句会は18名、年が明けた1月句会は16名、2月句会は13名となった。

新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に薄れてきているように思われる。

いずれマスクなしの句会ができるようになるだろうが、待ち遠しい。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

アノヒトノアタマヲヒヤスミズラクレ ひらく

この辺に春のトビラがあったはず 柳本恵子

柳本恵子さん、「春のトビラ」を見つけましたか？「トビラ」って「扉」のことでしょ？私の住んでいる津軽の冬は西風が猛烈で、雪が矢鱈に多く吹雪の続く日もあって、冬が嫌いな私は春を待ち焦がれています。「春のトビラ」ならいくつあってもいい。

B群

早朝の雨にねじれてしまう臍	石橋芳山
あれとこれまだできている蝶番	熊谷冬鼓
同じこと考えている長廊下	ひとり静
湯豆腐が浮いたら諦めるつもり	三浦蒼鬼
どんな顔してた？鏡の向こう側	須藤しのすけ
比例区にノミネートする釈迦如来	宮井いずみ
受信拒否リスト今夜も吹雪きます	守田啓子
追伸 もう彗星のはやめてくれ	芝岡かんえもん
戦争を知らないバスタブからうねり	小野五郎

今日もまた眉をしっかり書いている	村上てる
何故だろう毎晩同じ夢を見る	村上あつこ
ネギ刻むまな板からは鼓笛隊	辻井洋子
適応力あきらめのことも知れぬ	斎藤泰子
どうするかフライパンにも聞いてみる	坂本清乃
うなじから油の切れた音がする	吉田吹喜
本心が信じられない磨りガラス	瀧尻善英
ねえ感情で動いちゃ負けだよ ワタシ	田中 薫
いつものスूपいつものクスリおめでたし	旅男
ひたすらに聞きわけている吹雪く音	まみどり
綿棒で突つつく昨日のよろよろ	土田雅子
そしてまた愚かな笑みの中にいる	葉 閑女

ひと皮剥けばどこもかしこも羅生門 きさらぎ彼句音
 やや老けた月を味方につけました 米山明日歌

米山明日歌さん、この句を読んで微笑んでしまいました。どうせなら「太陽」とか「若い月」を「味方につけ」た方がいいと思われるのに、わざわざ「やや老けた月を味方」につけたなんて…。あ！経験豊富な方がいいってことか。そうだね。上質な笑いを提供出来る句はいい。

C群

トイレからかえったときは雲洗う	鳴海賢治
オリーブのくわえた鳩を待っている	吉見恵子
骨壺が飛び立つための導火線	夏草ふぶき
誤嚥性肺炎を一夜漬けた下仁田葱	笹田隆志
ベッドからルビコン川の水の音	奈良一艘

鳴海賢治さんで不思議な人だと思っと思っていましたが、この句を読んで不思議の国の王様であると確信し

ました。まず「トイレから出たとき」ではなく「トイレからかえったとき」が不思議。そして、「手を洗う」ではなく「雲洗う」がまた不思議。賢治さん、雲を飼ってるのかな…。

吉見恵子さん、「オリーブをくわえた鳩」じゃなく「オリーブのくわえた鳩」というところに驚きました。「くわえた」って漢字で書くと「銜えた」「啣えた」「啜えた」で、口または歯で軽くはさんで支え持つことですね。それから、「鳩を飼っている」じゃなく「鳩を持っている」って、動物じゃなく物体のことを言ってるようで、これにも驚きました。

夏草ふぶきさん、「骨壺」って飛ぶの？どうして「骨壺」に「導火線」がついてるの？「導火線」って、火薬を糸で巻いてひも状にした、雷管へ点火するためのものだよ。待てよ…、ふぶきさんの「骨壺」には忘れることができない人の骨が入っていて、いつまでも忘れることができないと困ってしまうので、それで飛び立たせようとしているのかもしれないな。違うかな…（汗）

笹田隆志さん、どうして「誤嚥性肺炎」と「下仁田葱」がくつつくの？変な句…。昔、蟹田の佐々木旅館で開かれたおかしょうき句会の懇親会で、かの有名な西秋忠兵衛さんが「普通はくつつかないAという言葉とBという言葉は何とかくつけて句を作っている」と言ったことを思い出しました。隆志さん、その葱食べない方がいいんじゃない？

奈良一艘さん、「ルビコン川」って広辞苑に『イタリヤ中部、アペニン山脈に発源し、アドリア海に注いだ川。古代ローマ時代、ガリア・キサルピナとイタリヤとの境をなした。前49年ポンペイウスとの対抗を決意したカエサルは、「骰子（さい）は投げられた」と言い、軍の渡河を禁じた元老院令を犯してこれを渡った。』と載っている川のことでしょ？一艘さんのベッドは「賽は投げられた、寝ている場合じゃないぞ！」と言うのか…。

（了）

おかしょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅2月間賞

じゃが芋の発声練習始まるよ

熊谷冬鼓

上村夢香【うへむらゆめか・山口県岩国市】

今朝もまた大河の録画まず一步
十五人で乾杯しますほつとして
新しい朝はやつぱり好奇心
近くするよ京までの道今年こそ
越年の目標ばかり増えていく

先月号のお気に入り

遠くより手を振るよつに散る銀杏 吉見恵子
よくお参りするお寺の風景が、浮かんでまいります。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

湯女ひとり太古から射す月明り
カピバラが入った後の仕舞い風呂
二日酔いに良く効くカラカラ大浴場
臍の緒がストーンサークルから続く
戦争を知らないバスタブからうねり

先月号のお気に入り

おんなの勤が道端に落ちていた 鳴海賢治
それを拾って再使用したんだろうか。気になる。

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

菜箸でつつく向き不向きのシバリ
残された右手袋をなんとする
過去問にしどろもどろの茄子のヘタ
あれとこれまだできている蝶番
替えないネジだとしつかり言い聞かす

先月号のお気に入り

固形物ばかり落ちてくるシャワー 夏草ふぶき
日常の中の理不尽さを感じました。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

わたくしを阻む水嵩雪の嵩
ここからは深夜と呼んで人嫌い
適応力あきらめのことかも知れぬ
乱読のしかし答えは見えもせず
へらへらと味方がいない背を晒す

先月号のお気に入り

産みたい次も木蓮咲く家に 赤石ゆう
ゆうさん、うちにも白木蓮の木がありますよ。どうぞ、
次はぜひ、うちに・・

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

曖昧なルシファーなんて辞めなさい
黙示録から熟読せよというメール
十字架が落ちてくるのは彼と彼
妻にあやされ元カノの夢を見る
海保にも苦勞をかける時代だな

先月号のお気に入り

皿一枚割って男を抱きしめる 夏草ふぶき
抱きしめて欲しい。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

暁闇なのだろかプラセボなんだろか
ph狂わせるサヨナラの余韻
ひと皮剥けばどこもかしこも羅生門
心を覗き込む心のガサガサ
何度咲いたつて場末の水申花

先月号のお気に入り

たし、まほし、ただ美しく水海月 宮井いずみ
外界も内界も自分の中に在ると知った時 水海月はゆう
らりと海になれるのかも。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

どうするかフライパンにも聞いてみる
青空に絆創膏の跡みつけ
包丁と睨む大鱈いざ覚悟
青空の朝はスコップ休業中
友の顔予期せぬ事と松葉杖

先月号のお気に入り

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

今日も雨柿を食います法隆寺
歌いたいなら廊下の隅で待ちなさい
誤嚥性肺炎を一夜漬けた下仁葱
靴下の穴から希望ふたつ抜く
不倫・電話番号・以下同文

先月号のお気に入り

形から入る蟹座は俺だから 石橋芳山
同じ蟹座ですがわたしは横からはいりません。

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

追伸 もう多るのはやめてくれ
独り身にメープルシロップかけられて
落涙や重い女を拭ききれぬ
アルバムの瘡蓋がまだ剥がれない
じつとしてドラマの中にいるゴジラ

先月号のお気に入り
今のうちに延長コード延ばしとく 熊谷冬鼓
わかりますよその気持ち。ただ：わたしの場合は既に遅
いかも。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

公務員の自分の甘さ知らされた
ヨガ教室ボランテアではできません
気持ちだけモチベーションが上がらない
やってみて赤字のつらさ思い知る
週末は少し余裕のある暮らし

先月号のお気に入り
もるもるをシュレッターして十二月 柳本恵子
まず、食器棚の皿をたくさん捨てました。これからです。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

ワタクシを磨く心のおしゃれする
本心が信じられない磨りガラス
ネガティブになれば裏目が出てしまう
欲しいのは三ツ星よりも母の味
この辺で一花咲かせていいですか

先月号のお気に入り
焼き芋の焦げた部分は思いやり 土田雅子
焦げた部分が、これまた美味しいんですよねー。ヒトの
美味しさもこの思いやりにあるんでしょね

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

でーんと居座るチヨイ悪招きネコ
ねえ感情で動いちや負けだよワタシ
どうしてもこの頃サリーちゃんが過ぎる
謎という謎を放り投げて涙
尾っぽが生えるよ本能的睡魔

先月号のお気に入り
身体中ネオンだらけで好きと云う 芝岡かんえもん
すごっ！

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

飲みかけの執行猶予の微炭酸
「再沸騰」押す（さよなら冬）とつぶやいて
冬の最後を死刑囚と眺めている
だって真実はいつも花粉症気味なんですもの
その穴からは が覗けます

先月号のお気に入り
おんなの勤が道端に落ちていた 鳴海賢治
統計的に女性はネガティブなので、女の勤が当たる時は、悪い事に
しか当たらないそうです。だから捨合わないほうがいいと思います笑

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

暗闇で吸る冷たい月見蕎麦
まだ続く君の知らないバスツアー
来年の夏までヒマワリのシール
どんな顔してた？鏡の向こう側
てっぺんを見てるジャングルジムの翼

先月号のお気に入り
アンテナの不具合ばかり永田町 上村夢香
元々聞く力も伝える力も無い。アンテナの所為にするの
は、アンテナに失礼かと

旅男【たびお・青森県五所川原市】

いつものスープいつものクスリおめでたし
じゃんけんぽんオムツに包まれる堅オツム
欲望のネット光の藪を漕ぐ
シオラクエラーメンラクエジヨッパレロ
いのちいちひとひとひのひもをひく

先月号のお気に入り
ぢいさんの泣からオーロラが漏れる 奈良一艘
イガを捨て鬼皮を脱ぎ渋皮になつて見せる光。ドヤ、ド
ウヤ！

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

すっぴんの宇宙の風は生ぬるい
あの頃に呼ばれて今夜舞い上がる
ネギ刻むまな板からは鼓笛隊
ここまでの点線繋ぐ呼吸法
足跡が黒くなつたら除菌する

先月号のお気に入り
気の向きと足の向きとが揃わない 安藤なみ
思わず笑っちゃいました。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

買い替えると言えば元気になる掃除機
会う度に爆弾落としてくれる奴
綿棒で突つつく昨日のよろよろ
均等に並ぶ遺伝子通夜の席
お清めの塩が静かに泣いている

先月号のお気に入り

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

上弦の月からいきなり石つぷて
向日葵の無念はしかと承知した
ベッドからルビコン川の水の音
だとしてもみんな寝言よ海鳴りよ
ツマノテヲダイテナコトアリマスカ

先月号のお気に入り
サバ缶の蓋のギザギザと話す
今はブルタブの付いたイージーオープン缶が主流なんだとか。そっちとお話ししたらどーよ(笑笑)
夏草ふぶぎ

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

羽子板の羽根の飛距離で生きている
骨壺が飛び立つための導火線
せっかちで三途の川を飛び越える
呼吸困難ずしんと朝が暮れていく
挨拶を通せんぼする喉ぼとけ

先月号のお気に入り
ヨロヨロの初冬の蜂にすべきこと
私の蜂には頂いた蜂蜜を少しお返ししました。
安藤なみ

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

誰からも愛されへその緒が長い
ポツンと一軒家はいま食事中
錠剤を飲んだか夕陽沈みゆく
戦争をするな子供が生まれます
トイレからかえったときは雲洗う

先月号のお気に入り
地球は回る、泣くんじやないよ寒立馬
背景がよかった。
むさし

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

もたれ合う関係もいい常緑樹
ぼんやりと支配されてて金魚まで
同じこと考えている長廊下
帰りたい海の記憶はないけれど
幸せってなにあんこ詰められて

先月号のお気に入り
落人のようにポツンと冬薔薇
真つ赤な薔薇が美しい。
葉閑女

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

ときめきも妬心も雪に隠しつつ
ひたすらに聞きわけている吹雪く音
粉雪のリズムで誘われた記憶
地吹雪と競い合ってた舞っていた
手の中で融かされていく警戒心

先月号のお気に入り
言葉つてとつても汗をかくだよ
そりや、今さら愛してるなんて言ったら冷や汗でしょう。
芝岡かんえもん

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

ひやつきんのミッフィーもいてのクリスマス
耳付けてバニーガールは高く跳ねる
アノヒトノアタマヲヒヤスマズラクレ
アイスクリーム買ってくれたら嬉しい日
じゃがいもの匍匐前進ロックオン

先月号のお気に入り
コスモスの真上の空とウクライナ
戦争終って欲しいです。
吉田州花

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

耳栓をしてロボットになる覚悟
有刺鉄線越しのあなたに憧れる
湯豆腐が浮いたら諦めるつもり
寂しくて月を噛ったことがある
足裏を洗って過去にしてあげる

先月号のお気に入り
焼き芋の焦げた部分は思いやり
ほっこりと母の匂いがしてきます。
土田雅子

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

靈感商法あたりの家畜運搬車
比例区にノミネートする釈迦如来
なまぬるい世論に喝をゆず胡椒
甘樫丘から5分励まし屋
太陽の申し子だからきゅんだから

先月号のお気に入り
春を待つ黄色い線の内側で 守田啓子
気を許して黄色い線を超えるとJRのお兄さんに叱られます。
雪国の皆さまは大変でしょうがくれぐれもご自愛ください。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

三月を待つ脱皮を繰り返す
長子ガチャハズレでごめんお母さん
またしても没句に夢で怒られた
最近の元気スポーツから貰う
本物の努力はひよっこりやつて来る

先月号のお気に入り
俺の血は酒で出来るかも知れぬ 瀧尻善英
善英さんぜひ一度ゆっくり呑みましょう。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

梅干しのお湯割りではじまる昔
「重要なお知らせ」に肩叩かれる
受信拒否リスト今夜も吹雪きます
フレミッシュジュヤイアント的令和五年
私の音、色、形、受け入れる

先月号のお気に入り
オバさんからお婆さん変わる音 村上あつこ
あの音ですねっ！

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

この辺に春のトビラがあつたはず
本降りになつて空っぽに気づいたの
いそいそと他人の顔して二月逃げ
書き出せば臆病な影あまた
解凍の途中で本音をもらす夜

先月号のお気に入り
クレムリンの尿路結石的呪文 奈良一艘
この呪文はすごく痛いと思います。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

深海魚だった記憶はありません
ケセラセラ余計なことはもうしない
僕が産んだ卵は全部不良品
何故だろう毎晩同じ夢を見る
壁の穴塞いでみても凍みる風

先月号のお気に入り
天国のトイレ掃除に行ってます 小野五郎
天国のトイレも大事です。必ずお世話になるからきれいにしなくっちゃね。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

束の間の冬の日射で一二三
今日もまた眉をすっかり書いている
枯れ芒あなたはこれまで何を見た
やんわりとクモリガラスの自己主張
ありがとうで生き笑顔で生きてゆく

先月号のお気に入り
この海を越せと紙飛行機を折る 柳谷たかお
NHKドラマ「舞いあがれ」を連想します。紙飛行機に夢をたくしている作者と同感です

柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

借物競争僕が書かれた封を引く
透明に心を染めて春を待つ
海山が美しすぎていない医師
幸せを忘れぬように鈴鳴らす
音すべて消し去り雪が降りしきる

先月号のお気に入り

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

三月になればなつたで姦しい
春雷に負けるものかといヌフグリ
冴え返る面影橋を行きつ戻りつ
傲慢も卑下も虫干しして海へ
そしてまた愚かな笑みの中にいる

先月号のお気に入り
ふりむいて欲しくて割れたしゃぼんだま きさらぎ彼句吾
可哀想なしゃぼんだま。童話って残酷です。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

エタノールそちこちトランプの兵隊
駆けやすいペンを持つ日の雪のんの
雪はこれから柔軟剤は桜へと
雪用の傘よ軽さと彼岸まで
しあわせはポテトサラダが好きな人

先月号のお気に入り
騙されたまんまで添い寝してあげる 須藤しんのすけ
ローズマリーの香りを抱いて添い寝してもうっ

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

「てめえ」だの「この野郎」だのグツと飲む
しをしをとネオンの滲む街をゆく
会うたびにちよつと萎んで見せる友
お散歩ですの 方位磁石と地図持って
うなじから油の切れた音がする

先月号のお気に入り
もう無性にキリン産みたくてたまらん 雨森茂喜
参りました。私にはム〜リ〜

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

やや老けた月を味方につけました
広げれば沼の臭いのする誘い
取り替える三分前のわたくしと
欠点を三つ言わせて終わらせる
旅にでる石の一つ壊すため

先月号のお気に入り
ドリフトの痕跡があるデンデラ野 小野五郎
わたしのデンデラ野は、花がいっぱいですよ。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

老いうさぎ令和五年を跳ねれるか
願い事をダイエツトする初詣
カニの足ゲット御神酒を下ろしてる
ぶつ切りにしての好意が美味くない
後がない二兎も三兎も追わなくちゃ

先月号のお気に入り
突然に落葉いちまい受話器より 吉見恵子
昨年は、突然の訃報の電話が何度も…。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

オリーブのくわえた鳩を待つている
塞翁が馬のカレンダーを捲る
好奇心をビーズのように鏤める
冬至来て日脚はレモン色を増す
冬火花生きているうち日の暮れぬうち

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

ジュゴンには先頭きつて行つてもらう
埋もれてる場合じゃないよ黒の波間に
境界線で唸り続ける笠智衆
玉手箱内蓋ずらし換気しよ
胸キュンのリフレインあまねく無敵

先月号のお気に入り
おんなの勤が道端に落ちていた 鳴海賢治
すみません、落ちやすいんです。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

プラ製の無常情の曲げわっぱ
訪れた国々歴史に消えていく
メタバース蟻の一撃思い知る
週刊誌買って入った喫茶店
セーターを求めているこのこ雪の朝

先月号のお気に入り
言葉つてとつても汗をかくんだよ 芝岡かんえもん
ほんと。熱い汗冷たい汗をかきながら話しています。

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

冷たさが刺さる1月に降る雨
豚骨スープに喉仏湿じる
早朝の雨にねじれてしまう臍
痙攣は止まらず脳が吠えている
晚酌にエイヒレたまにチョコバナナ

先月号のお気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

先手必勝ハバネ口味潮吹き
水平線ポケットチーフにして戦
くちやくちやな箆笥は母の広っぱで
セグロセキレイは連弾のお相手
あらかたを横抱き近松門左衛門

号の
先月
お気に入り

むさし【むさし・青森県蓬田村】

刻みキャベツの下でもがいているサソリ
風燃えて不意に地吹雪立ち上がる
右足の余白に釘が打たれてる
右肩を走る線状降雪帯
振り向いてばかり爺さんの足の爪

無人駅は自由な発表の場です。
未発表作品5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から
お好きな作品とそれに対する
簡単なコメントもお寄せください。

を飼い慣らす

2月4日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(13名)

きさらぎ彼句吾・Sin・田中薫・熊谷冬鼓・渡邊こあき・葉閑女・
守田啓子・奈良一艘・小野五郎・夏草ふぶき・むさし・笹田隆
志・須藤しんのすけ

▼投句者(19名)

安藤なみ・金瀬達雄・米山明日歌・柳本恵子・宮井いずみ・吉
松澄子・岩根彰子・吉田吹喜・旅男・城後朱美・石橋芳山・芝
岡かんえもん・郷田みや・鳴海賢治・まきこ・坂本清乃・村上
あつこ・田久保亜蘭・まみどり

おかじょうき川柳社

2月例会

宿題『ティッシュ』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

- ティッシュペーパーは半導体で出来ている 小野五郎
- ティッシュにくるんで流すわだかまり 渡邊こあき
- ティッシュペーパー飛ばす猿の惑星で 須藤しんのすけ
- 申し訳なさそうにティッシュで覆う癖 S i n
- うつすらとリストカットのある明日 須藤しんのすけ
- 袋とじの言葉を吐いてティッシュまみれ 奈良一艘
- 微熱まだあつて濡れティッシュは匂う 熊谷冬鼓

自分の死受け入れるまでティッシュ抜く 守田啓子

花柄のティッシュがゴロゴロ喉鳴らす 夏草ふぶき

ニンゲンハティッシュノシンデアル ダウト 奈良一艘

【秀逸】

ふわふわとティッシュそいう闇バイト 守田啓子

ティッシュに包まれた駄菓子わたしです 田中 薫

賞味期限切れのティッシュで拭く象の尻 笹田隆志

【特選】

使用済みティッシュのような夕陽だ S i n

『ティッシュも夕陽もジブンを認めるよ
うなのか。』

宿題『ティッシュ』

青森県外ヶ浜町 Sin選

【佳作】

- 極上のティッシュに包むモアイ像 む さ し
- 花柄のティッシュがゴロゴロ喉鳴らす 夏草ふぶき
- ティッシュペーパー飛ばす猿の惑星で 須藤しんのすけ
- 賞味期限切れのティッシュで拭く象の尻 笹田隆志
- ワタクシを拭くティッシュから凍裂音 きさらぎ彼句吾
- ティッシュください できれば箸も欲しいです 小野五郎
- ティッシュペーパーは半導体で出来ている 小野五郎

袋とじの言葉を吐いてティッシュまみれ 奈良一艘

ティッシュの箱からカニカマ出しますよ 小野五郎

ティッシュ一枚偽アイドルという病 須藤しんのすけ

【秀逸】

ティッシュで優しく年齢を削りとる 渡邊こあき

ふわふわとティッシュそいう闇バイト 守田啓子

自分の死受け入れるまでティッシュ抜く 守田啓子

【特選】

ティッシュもないしなんの覚悟もできてない 守田啓子

『ティッシュがなければ何も覚悟はでき
ません。』

宿題『似る』

青森県弘前市

奈良一艘選

【佳作】

偉そうな類似品ですコインチョコ
鶏が先か蛸飯タコライス
似ていても似ていなくても 腹が立つ
似なくても似るところまで似たら雪
なにひとつ似た所ない正方形
父さんに似てると言われ俯いた
遺伝子の眉の形が泣けてくる
抱き合つて似た者同士にしてしまう
声だけが似ている水の向こう側
献血ノタブンミンナト同ジ赤
双子ですうまいまはずいは分かります
あきらめるしかありませんDNA
石破茂に二割ほど似た焼芋屋
女偏になつて立ち位置を変える

郷田みや
宮井いずみ
吉田吹喜
まみどり
笹田隆志
城後朱美
芝岡かんえもん
むさし
安藤なみ
須藤しんのすけ
鳴海賢治
まみどり
小野五郎
夏草ふぶき

寝不足で絹ごしのように煮崩れる

機嫌のいい雪のモノマネできます

猿に似たオトコおしやべり止まらない

DNAの怖さを知ってるかい

擬態解く呼吸がとても楽になる

お父さん私も梅花藻のゆらり

【五客】

私ってマイナンバーと似てますか
サボテンを抱いたか不確実な痛み
ルフィってさバナナにちよつと似てるって
チェロス似の裏切り断面が四角
ジュピターに似ている母を取り替えた

【人位】
後期高齢つて柱状節理だね
【地位】
父親に似る日本海捨てちゃった

【天位】
何度輪廻してもAの、
『しかしですな、でもAだったらエエ
やないですか(笑)』

夏草ふぶき
S i n
まきこ
田中薫
きさらぎ彼句吾
岩根彰子
郷田みや
石橋芳山
守田啓子
石橋芳山
田久保亜蘭
小野五郎
田久保亜蘭
きさらぎ彼句吾

宿題『石』

青森県青森市

笹田隆志選

【佳作】

石ころに言い訳が効くはずがない
七人の敵の一人は独りです
カルテには石と一文字書かれてる
勾玉のかたちに労わりあう家族
沢山の石散らかして生きてます
その石がちよつと泣いたらあたしです
その石をどけるビーナスが見えない
何もないのでと漬物石を渡される
橋わたる頑固な石は捨ててゆく
石を蹴る子供の数は減ってない
仮縫いのままで漬物石になる
最初はグーとどこどこに涙雨
明日から普通の石になるダイヤ
切れかけた蛍光灯のような墓石

田中薫
米山明日歌
柳本恵子
宮井いずみ
田中薫
守田啓子
石橋芳山
むさし
芝岡かんえもん
金瀬達雄
郷田みや
まきこ
田久保亜蘭
守田啓子

胆石になつてあなたに潜伏中

わたしにはお墓がないの死ねないの

個人的には白菜押してる石が好き

闇バイトするか漬物石を持つか

ルフィから石ころ三個渡される

包丁と砥石だな 夫婦

【五客】

ヒト科のおろかさよ石は丸くなる
念のため石川さんを褒めておく
石を蹴るちよいと家出をしています
面会謝絶がとけたら石になつていた
合掌にためらい傷のある地藏

【人位】
石を投げ人生論ケンケンパー

【地位】
出席番号一番石田君

【天位】
漱石という名のネコの家出癖

『作者は私が漱石を尊敬していることを
知っているようです。文句なしです。』

夏草ふぶき
吉田吹喜
小野五郎
守田啓子
田久保亜蘭
奈良一艘
城後朱美
吉松澄子
まきこ
夏草ふぶき
奈良一艘
田中薫
須藤しんのすけ
むさし

宿題 『自由詠』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

アナログで良かった詐欺とは距離とれる
 ヒヤシンスその赤裸々な私生活
 春うらら一番先に咲く雑草
 アイライン食み出している雪椿
 行き先より誰と行くかに鍵括弧
 水に映すまでは離れていた影
 匍匐前進おんな地雷になつて
 真四角が当たり前です結果論
 しめ鯖に聞いたか明日の塩加減
 右旋回の座標軸に河馬の尻
 雪かきもせずに鴉よ何を鳴く
 ストレッチ和解するまであと少し
 痒いのは頭の中だ再起動
 オームの法則愛が終わっていく

熊谷冬鼓
 宮井いずみ
 柳本恵子
 岩根彰子
 郷田みや
 米山明日歌
 芝岡かんえもん
 石橋芳山
 坂本清乃
 笹田隆志
 葉 閑女
 まきこ
 むさし
 柳本恵子

慰霊碑の裏にまわれれば冬の海
 まん丸でいなさい寒すぎる夜だ
 地図には載っていない私の秘密基地
 マネキンのうしろ姿に絆される
 逢いたさはいつもナナメに崩れるの
 闇を聴いてくれたのは爛冷ましだけ

【五客】

前のめり幸せさがすハイヒール
 明日には融けてなくなる人という
 梅が咲く腸内環境整えて
 裏起毛のような言葉がうれしくて
 絡まったタコ足配線形見分け

【人位】
 牡丹雪ポチツと電子お線香

【地位】
 口紅をつけすぎました鬼の面

【天位】
 ジャン・レノのメガネと髭を飼い慣らす

●素敵なものを飼い慣らすことにしたの
 ね。懐いてくれたらどうなるのでしょうか。

小野五郎
 石橋芳山
 村上あつこ
 鳴海賢治
 S i n
 きさらぎ彼句吾
 芝岡かんえもん
 まみどり
 守田啓子
 吉松澄子
 熊谷冬鼓
 岩根彰子
 渡邊こあき
 須藤しのすけ

おかしょうき川柳社：誌上句会

0 番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者（2句詠・共選）

題：『数』

選者

四ツ屋めぐみ（北海道）

奈良一艘（青森県）

7/31 〆切

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.htmlへアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかしょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）*発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかしょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

川柳吟行会「ぽ」

課題「金」

12月21日（水曜日）連日降り続いた雪も小休止。お出かけ日和となりました。

令和四年最後の合評会は、少人数にはなりましたが、54句をすべて合評。やはり一人吟行は難しく、特に今回の「金」には苦戦したようです。お金の「金」金一封・香典・お年玉…、「金」の入った固有名詞を使った金魚・金東子・おろし金…の二派に別れました。いろいろ模索しながらの吟行会「ぽ」でしたが、何はともあれ1年間歩き続けられたことに感謝です。（こあき）

【10点】特×5
金魚の生き方反論聞きましょう
吉田州花

【善江】金魚のように生きるのも浮世の渡り方ではありませんか。羨ましいです。【朱美】私も金魚の生き方をしているのかな。何が金魚的かわからないけど、鯛ではないことは確か。【柳本恵子】金魚の生き方、いいですね。自由で優雅で憧れます。余裕たっぷり反論できますね。【文音】金魚の生き方って何？想像できない。金持ちの生き方に置き換えたら色々想像できた。面白い。【規子】五十過ぎて聞く耳だけは少しあるようになったつもり。私は人より十年早く老いが来る。金魚鉢がちょうどいい。聞き役やりますよ。

【8点】特×2・佳×4
十二月の足裏擦る金東子
守田啓子

【吉見恵子】今年も随分とお世話になった足裏を、今年の垢を落とすかのように金東子で擦っている。足裏への労りだろう。十二月と足裏の組み合わせがしみじみとする。【さち】1年間のたくさんの悔いが残る十二月。擦り落として新しい気持ちで新年を迎えたい。共感します。【彰子】銭湯で実際に目になっている光景。十二月が良い。【五郎】何があったのか、想像力を刺激する作り方。【こあき】一年のいろいろを無いことにしちゃえ。インパクトありました。【冬鼓】金東子でそぎ落とした今年のもろもろ。12月ならでは。

【7点】特×2・佳×3
「沈黙は金」真つ白のプラカード
滋野さち

【与生】ワールドカップ（W杯）で口を塞いだドイツ選手のように。結果予選敗退は「沈黙は金」でなかったことを知らしめた。【州花】プラカードの白はありあまる思いを伝えると思いたい。【柳本恵子】お隣のデモのことでしょうね。何かが変わろうとしているようですね。【達雄】日本人らしい。やがてプラカードも禁止される。

【5点】特×2・佳×1
何もしてやれなかつたと散る銀杏
吉見恵子

【五郎】作者の心情と実風景の重ね方が出色。【隆志】古稀の祝いに駆けつけた子、孫たちのまえで「何もしてやれなかつた」としみじみ述懐している自分を発見。【さち】無念と優しい気持ちをしみじみ感じます。

【5点】特×1・佳×3
金継ぎの方の家系図お見せする
宮井いずみ

【冬鼓】欠けた部分もあるが地道で質素な家系だった。そこに海外で活躍するような子が！などと勝手な想像をした。金継ぎの比喻がいい。【州花】家系図の金継ぎはお見事。【五郎】取り合せが巧みで分かりやすい。【こあき】家系図金継ぎしていたのですか。きれいに修復できたのならよかったです。

見てはいけない金輪際の向こう
守田啓子

【かなえ】「金輪際」に参った。底の底という意味もある「金輪際」の「向こう」を見てはいけないことを、最近とみ

【冬鼓】物言えぬ国にいて抗議の白。その無言こそが雄弁。

に実感している。【与生】怖いもの見たさというのものもある。有閑マダムのこと？【いずみ】「金輪際に向こう」という措辞が面白い。【達雄】見たら怖くて、日々の生活が出来なくなる。

【4点】特×2

置き配に香典とあり年の暮れ

月波与生

【彰子】「置き配」にリアリティがあり、「年の暮」はタイムリー、そして置き配の本身は「香典」見事な座りに感服しました。【しんのすけ】コロナ禍での新しい生活スタイル。慣れるまでしばらく時間と寂しさが伴う…年の瀬はこんなものだったかと。

【4点】特×1・佳×2

ことばにも声にも飽きたおろし金

小野善江

【こあき】おろし金は作者ですね。ちよつと今の状態に倦んでいるのでしょうか。ことばにも声にも飽きたがいい。【与生】もう同じ空気すら吸いたくないおろし金。【さち】愛から情への過渡期でしょう。やがてあきらめが来ます。

【2点】特×1

エクステに結ぶ黄金虫の記憶

須藤しんのすけ

【いずみ】エクステに黄金虫の記憶を結んだら、頭を動かすたびにリッチな気分になれるかも。

【2点】佳×2

のっぺらぼうになっちゃった金曜日

城後朱美

【啓子】仕事をしていた頃の金曜日がなつかしい。のっぺらぼうな毎日です。【隆志】高齢になり、いっしょか金曜かのっぺらぼうに。

【1点】佳×1

斜めからポマードつけた金一封

岩根彰子

村の田中と街の TANAKA を親友に

金瀬達雄

お年玉伯母の威厳を保てるか

渡邊こあき

具材みな半額だった今日の鍋

村井規子

金糸一本織り込む 今が光りだす

柳本恵子

【4点】佳×4

黙秘してはる泡吹いてはる金柑煮

岩根彰子

【いずみ】大袈裟な擬人化だけど、逆に金柑が喋ったりしたら怖い。【柳本恵子】ジャムを煮る時って何だか神聖な時間ですね。【文音】金柑を美しく煮るタイミングを計る作者も煮られる金柑の息遣いも関西弁の〇〇してはるの表現で際立つ。まして夫婦であれば尚おもしろい。【かなえ】怖っ。「はる」のリフレインで凄みが増した。

【3点】特×1・佳×1

しばらくは針金とみる虹の橋

小野善江

【啓子】「見なす」なのか「いっしょに見る」なのか。故意に曖昧にしたのか。興味が湧く作り方をしている。とても気になった作品。【彰子】虹の橋を針金とみる…作者の心情の去来に心揺さぶられた。

歯が疼く宇治金時の別れ際

滋野さち

【達雄】コロナ禍のストレス解消。酒・たばこをやめて私はアイスクリーム。体が冷えるので別れ際。お互い次は何を嗜好品とするのか。【啓子】個性的な別れ際の表現だと思う。

現金で払えぬ店がそこかしこ

城後朱美

法改正どんぐりを貨幣とする

金瀬達雄

物忘れ痒いところに金メッキ

宮井いずみ

五百円玉貯金の重さ 月は冬

熊谷冬鼓

24金だったとしても無い指輪

福田文音

金持ちね最初に靴を視るなんて

金瀬達雄

あしからず金は残して逝きません

渡邊こあき

雪時雨押し分け金の霊柩車

小野五郎

ジャンケンぽん金平糖ほど甘くない

笹田隆志

深艘心理

羞恥のシュさえ見当たたらぬ犬のフン

四ツ屋いずみ

(会員雑詠集 無人駅1月号より)

掲句をそのまま読めば、一見、作者がお出かけの帰りのこと、何気なく歩いていたら電柱近くにあった犬のフンを知らずに踏んづけてしまった。「もう、なんなんだよ。散歩に連れてきた飼い主は始末しないんかい！何のために袋とウンコ挟みを持って散歩してんねや！おまえら恥ずかしく無いんかい。そこに愛はあるんかい。と大変お怒りの句に見えます。

が、ふと最近の「スシローナメナメ男事件」の構図と重なってしまいました。

SNSで各種悪戯動画を拡散した結果スシローの株は下がるわ、客離れはするわで、スシローでは刑事、民事の両方で訴訟にまで発展しているのだとか…。犯人は特定されて、本人は退学するわ、その子が進んでいる学校は責められるわ。両親に新聞記者が取材攻勢かけるし、その学校の全国区でも強豪な部活は停止せざるを得ない状態までなっているし、ご両親が担う補償金もなまさか

ではないらしい。毎日学校へは何千通もの抗議の電話が鳴りっぱなしなんだとか…。うーむ。なんだかなあ。SNS怖し。

ま、「深艘心理」なので深読みをすれば、ドンピシャな「ペロペロ事件」を犬のクソだと比喩的に捉えうるかも：と思ってしまう。

あー、私事ですが、ウチではニンゲン年齢75歳の私と同じ歳の猫がいます。こいつがまた、牙も欠けてしまつて柔らかい物しか食えなくなつちまつたオカマ猫。私は会話の疎通は出来るのですが、都合悪いとシカトします。でも寝るとなると、まるでルーティンのように一緒に寝ようと呼びにきます。

それはさておき、ま、運が付いたと思えばそれもまた楽しかすやと、あんまり根詰めて怒らんといてやあ。ハッハッハ。

十和田たてがみ川柳会 一月句会

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・福田芳記・村上昌子・高田幸柳
○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『チャンス』

福田 芳記 選

【平抜き】

チャンスどこ七転びした起きれない 斉藤 蛙井
振りかえりやチャンスはあつたあるときだ 中村 英三
いくつものチャンス逃がし苦笑い 久保あざみ
カタールで好機外したPK戦 佐藤まさあき
見逃したチャンスに順位つけてみる 高田 幸柳
明日と言うチャンスへ夢を追う一途 木村奈生美
死んだふりしながらチャンスじつと待つ 瀧尻 善英
耐えて耐え小さなチャンス掴み取る 高田 幸柳
やる気有る少年が手にしたチャンス 木村奈生美

【秀逸】

絶好のチャンスのはずが欲を出し

高田 幸柳

妻の留守少し多めに爛をつけ

佐藤まさあき

【特選】

ピュリツアを狙う好機を待つレンズ

瀧尻 善英

■席題 『チャンス』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

愛犬よ今がチャンスだ飛び越えろ 久保あざみ
チャンスきた躍り出てみた席がない 斉藤 蛙井
どん底で呉れたチャンスに射す光 木村奈生美
コソコソとやればチャンスがきつと来る 村上 昌子
いくつものチャンス逃し苦笑い 久保あざみ
妻の留守少し多めに爛をつけ 佐藤まさあき
2死満塁チャンスとばかり4番立つ 佐藤まさあき
一本気チャンスにいつも乗り遅れ 斉藤 蛙井
耐えて耐え小さなチャンス掴み取る 高田 幸柳

【秀逸】

絶好のチャンスのはずが欲を出し

高田 幸柳

■宿題 『昼夜』

村上 昌子 選

【平抜き】

ウィルスか風邪か昼夜のミステリー
住宅ローン昼夜働く父母である
あゝ妻に昼夜を越えて介護受け
昼夜なく追い込み入る受験の子
録画貯め昼夜逆転する土日
テレワーク下はパジャマでいる昼夜
一昼夜寝かせパン生地出番待つ
昼夜なく作句のペンは休まない
昼夜なし新米ママにブラボーを
地下鉄が昼夜をおかずシエルターに
昼も夜も母の介護はまだ続く
昼夜なく故郷配る宅急便
老犬は昼夜を問わず歩いてる

【秀逸】

夜の底昼夜の悔いがふくれだす
一昼夜水で戻した記憶力

【特選】

昼シキル 夜はハイドの顔になる

磯島 雅男
城後 朱美
斉藤 蛙井
佐藤まさあき
高田 幸柳
瀧尻 善英
佐藤まさあき
瀧尻 善英
高田 幸柳
福田 芳記
城後 朱美
中村 英三
久保あざみ

齊藤 蛙井
高田 幸柳
瀧尻 善英

■宿題 『誓う』

佐藤まさあき 選

【平抜き】

酒タバコ止めると宣言すぐ反故に
非核化を誓って軍事費を上げる
宣誓の球児の言葉身にしみる
真つ直ぐに誓う言葉に嘘がない
愛すると誓って呉れた筈なのに
老いて尚命日忘れず花添える
ミサイルで九条の誓い打ち砕く
見てみたい誓った胸の内側を
浮気などしない男の宣誓書
薄目開け隣り何う初詣
会うたびに再会誓いご無沙汰に
健診の予約で誓うダイエット
アメリカに専守の誓い捨てにゆき
裸木の花芽未来に誓うよう

【秀逸】

知覧から生徒が誓う重い遺書
結婚式の誓いの言葉それつきり

【特選】

宣誓の右手に熱い視線受け

中村 英三
瀧尻 善英
城後 朱美
木村奈生美
木村奈生美
久保あざみ
齊藤 蛙井
中村 英三
城後 朱美
高田 幸柳
高田 幸柳
高田 幸柳
高田 幸柳
高田 幸柳
齊藤 蛙井
磯島 雅男

瀧尻 善英
城後 朱美
瀧尻 善英
高田 幸柳

■宿題 『緻密』

互選

- ① 日が昇り落ちて緻密な時は過ぎ
- ① 緻密さをITまかせキキ叩く
- ① 緻密なる計算づくめマイカード
- ② 現場では緻密な策が仇となり
- ② 計画は緻密でもやることは杜撰
- ② 気を癒す緻密な母の優しい手
- ④ 緻密な美魅力あふれるこぎん刺し
- ⑤ 細部まで獲物逃がさぬ蜘蛛の糸

中村 英三
齊藤 蛙井
村上 昌子
高田 幸柳
佐藤まさあき
木村奈生美
福田 芳記
瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会3月句会案内◆

【時】 3月18日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠 『転倒』久保あざみ選
／『定年』齊藤蛙井選 【互選】(一句詠 『手助け』当
日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】一題
(三句詠・共選)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一
名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高
田幸柳宛

「チャレンジ川柳!
むさし流!」のブ
ログはこちら

「秀逸」のブ
ログはこちら

記のうえ百円切手同封ください。(不浪人賞・年度賞1位に呈賞)【対象作品】2022年1月～12月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可。*2賞への同一句の応募は不可。【応募用紙】所定用紙(コピー可)またはA4の用紙を使用し、楷書で不浪人賞(3句)と年度賞(5句)を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください*清記選【締切】2023年5月31日(当日消印有効)【発表】大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。尚連盟だよりは基本的に所属吟社に一括送付します。応募の際に所属吟社記入の事。【表彰】2023年9月23日(祝)川柳忌黒石川柳大会にて(予定)*各賞1位に賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】☆不浪人賞(6名) 渡辺梢(埼玉)・赤松ますみ(大阪)・鎌田京子(宮城)・新家完司(鳥取)・島田駱舟(千葉)・野沢省悟(青森)★年度賞(10名) 長谷川酔月(秋田)・熊谷岳朗(岩手)・雫石隆子(宮城)・片倉卯月(山形)・駒木香苑(福島)・千島鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 電話 080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

句会、大会、誌上句会などの情報をお寄せください。

info@okajoki.com

※メール本文にベタ打ちでも構いません。

テキストデータで送っていただくと助かります。

□ 2023.03.18 「らくだ忌」第2回川柳大会

【とき】2023年3月18日(土)午前10時開場 出句締切午前11時30分【ところ】ラポール京都(京都労働者総合会館)2階大ホール 阪急京都線・西院駅より徒歩約7分【開会】午後1時～【兼題】「泡立コ」湊圭伍選(愛媛)／「二周半」暮田真名選(東京)／「生い立ち」真島久美子選(佐賀)／「無い袖」小上桐子選(兵庫)／「ぶらり」新家完司選(鳥取)／「雑詠」くんじろう選(大阪)※各題2句出し・各題に秀句賞※欠席投句拝受【欠席投句】2,000円(定額小為替・現金／切手不可 発表誌呈)※すでに欠席投句をお預かりしている方は受付にお申し出ください。【欠席投句締切】2023年2月28日必着。投句先は下記事務局まで。A4用紙(紙質自由)に簡条書き措書あるいはワープロ打ち可能。その際、連絡先お名前(雅号)住所・電話番号・メール等を忘れずにお書き入れください。【会費】2,000円(昼食は各自でお済ませください。発表誌呈)【懇親会】5,000円。定員40名・先着順 午後5時～(会場へは係員がご案内致します)【お申し込み・お問い合わせ】川柳らくだ事務局・実行委員会。〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-17-6 森 茂俊 MAIL:27sigetosi575@gmail.com

□ 2023.03.31 〆 としま川柳誌上大会

【課題と選者】(各題2句提出)「アピール」赤松ますみ選(大阪)／「守る」安藤波瑠選(東京)／「主役」上村脩選(東京)／「壁」大野征子選(東京)／「描く」新家完司選(鳥取)／「未来」高瀬霜石選(青森)【表彰】賞は各特選句からの二次審査(松橋帆波・田岡弘・平井熙選)「2023 としま川柳誌上大会賞」賞金3万円／「豊島区長賞」／「豊島区教育委員会賞」／「全日本川柳協会賞」／「豊島区観光協会賞」／「豊島新聞社賞」*各賞に表彰状・賞品呈上 *各題秀句に賞品呈上【投句方法】応募料千円(郵便小為替・切手不可)何口でも可/投句用紙使用(コピー可)・又は便箋大の用紙(郵便番号・住所・氏名・電話番号明記)【応募締切】令和5年3月31日【発表】令和5年6月予定(発表誌呈)【応募先】170-0013 東京都豊島区東池袋1-42-12 ステーションサイドビル1階 平井熙宛【連絡先】電話 090-9817-2983

□ 2023.05.31 〆 第65回「不浪人賞」・第53回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方無料。無所属の方、又連盟だより(結果)の個人送付希望者はその旨を明

■会費拝受【1月受付分】

一帆・斎藤泰子（以上秋田県）／小林茂子（岡山県）／城後朱美（福岡県）／金瀬達雄（富山県）／藤田めぐみ（東京都）／高橋光子（愛媛県）／齋藤恵子・村上てる・菊池京（以上青森市）／田中薫・吉田吹喜（以上弘前市）／旅男（五所川原市）／Sin（外ヶ浜町）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社
→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759
(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田87-2)

終着駅 Sin

◆昨年、盛り上がったサッカーW杯。年が明けて、2023年もスポーツの世界大会は目白押しである。その先陣を切って開催されるWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）。この号が届く頃には、日本での一次ラウンドが終わって順調ならアメリカへ移動している頃だろう。これまでのWBCはアメリカのメジャー球団が高額契約の選手の出場に制限をかけていたせいで、サッカーW杯のような盛り上がりを見せることはなかった。もともと、野球はオリンピックでも正式種目から外されるくらい、限られた国でしか行われていないスポーツ。そこにスター選手の出場が無ければ、盛り上がるわけではないのである。それにアメリカも危機感をおぼえたせいか、今回のWBCはメジャーリーグのスター選手が参戦を表明し、名実ともに世界一決定戦

になった◆私も子供の頃から野球少年で、毎日のようにテレビでジャイアンツ戦を観てきた人間だが、昨今の野球人気低迷でさっぱり日本の野球を観戦することもなくなり、日本代表選手ですら、知らない選手が増えて、にわかファンのようになってしまった感があるが（笑）、日本の至宝・大谷翔平を楽しんで応援したいと思う◆こと文芸に関しては「戦い」というフォーマットはあまりそぐわないが、都道府県代表による川柳大会なんかあったら、お祭りのようなエンターテインメントとして、盛り上がるような気もする（笑）現実的に開催は不可能だとしても、都道府県代表選手をあれこれ想像するだけで、酒の肴になりそうだが、でも、なんか、あれなんだろうなー、都道府県代表選手を決めるのに揉めるんだろーなー、いい大人たちが（笑）◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2023.03.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（5月号分）

【締切】3月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】5/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2023.04.01 おかげょうき川柳社本社4月句会

【時】4月1日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】3月31日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『折る』/『円』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「サブリメント」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子） ■句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2023.04.12 〆「川柳吟行会 ぼ」4月句会

【投句締切】4月12日（第2水曜日）【題・投句数】『登る』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならおかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2023.04.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（6月号分）

【締切】4月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】6/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

